
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 2月14日～2月20日

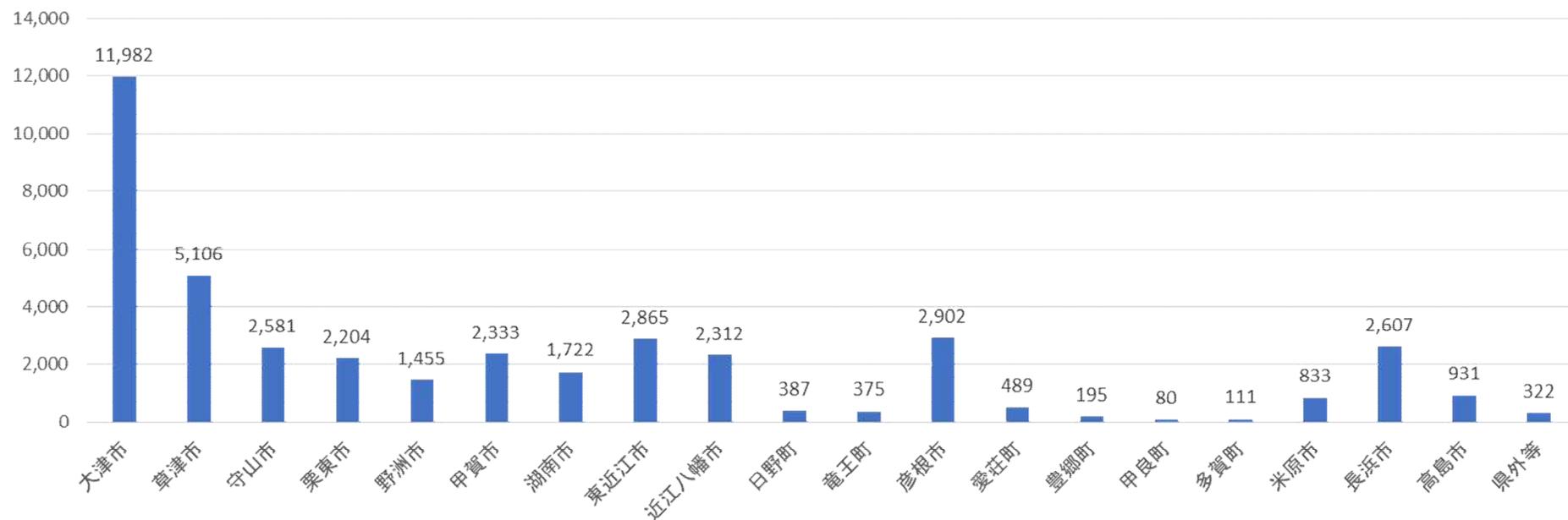
2月22日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

1) 県内の陽性者発生状況

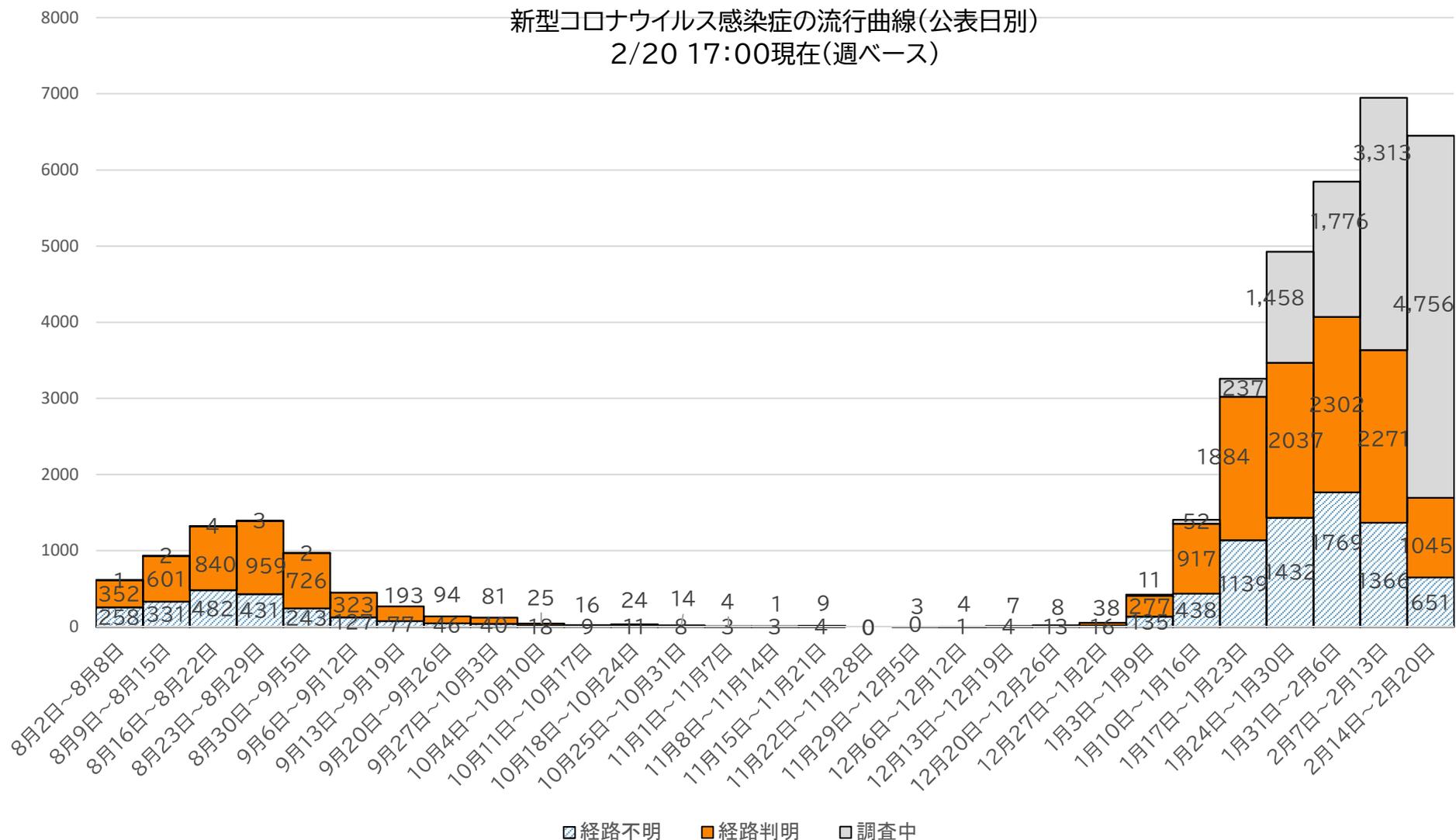
	新規感染者数
今週の報告数(2/14~2/20)	6,452人
累計(2/20時点)	41,792人

2) 市町別の累計陽性者発生状況



3) 県内の感染動向

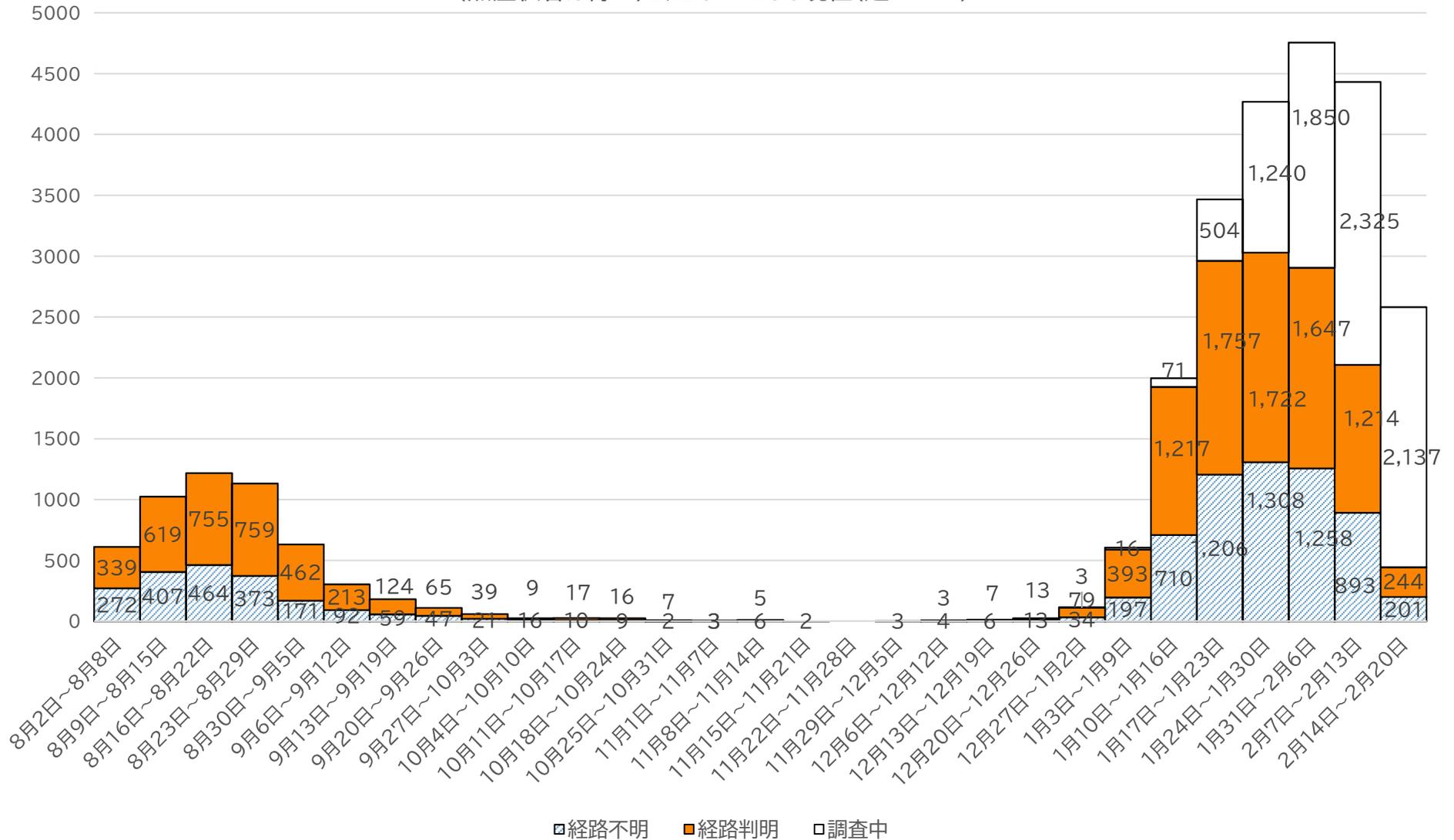
① 流行曲線(公表日別)(2月20日現在)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(2月20日現在)

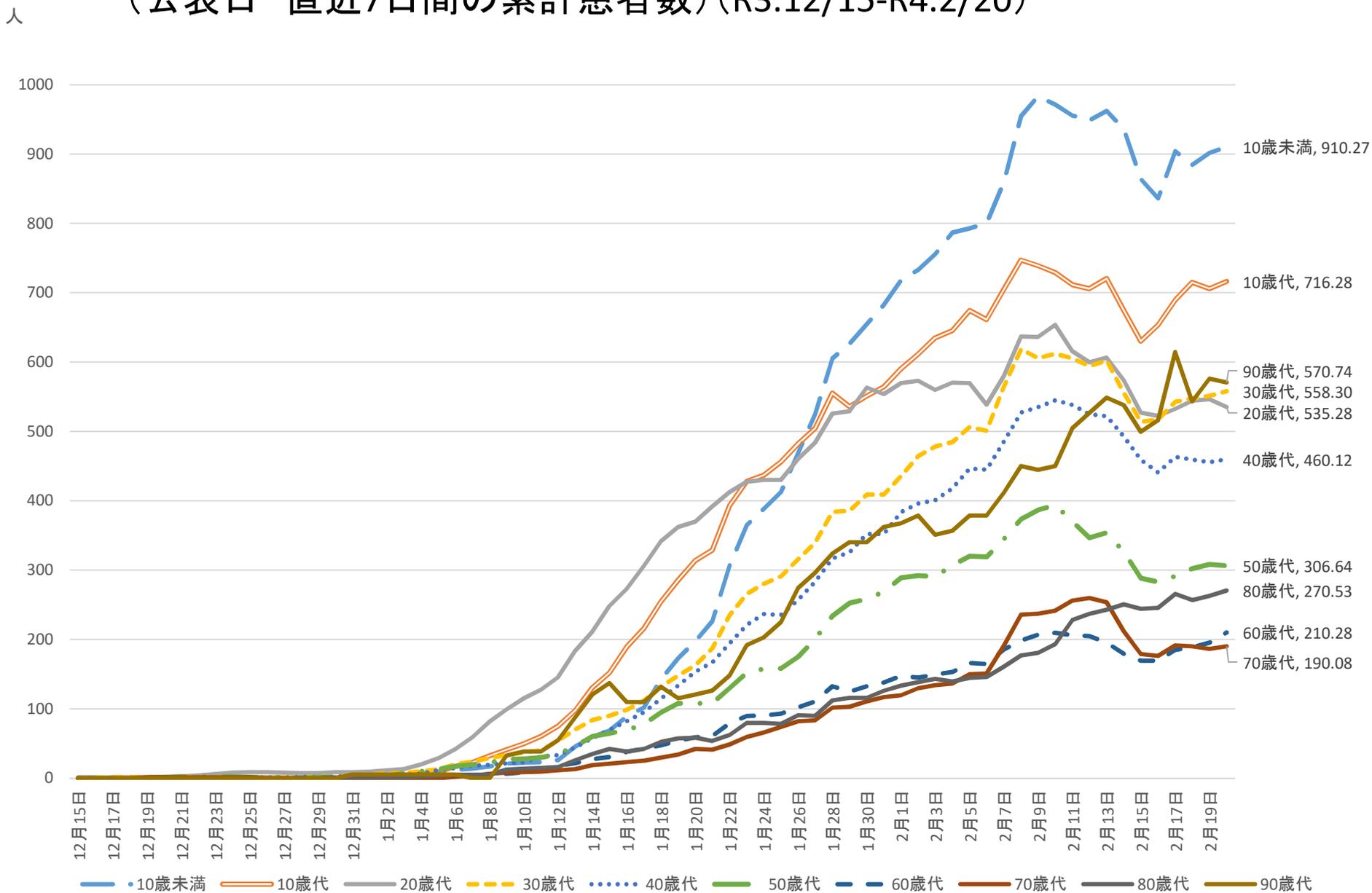
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)2/20 17:00現在(週ベース)



注)無症状者を計上していません。今後2/20以前に発症した患者が届出されることがあります。

4)年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

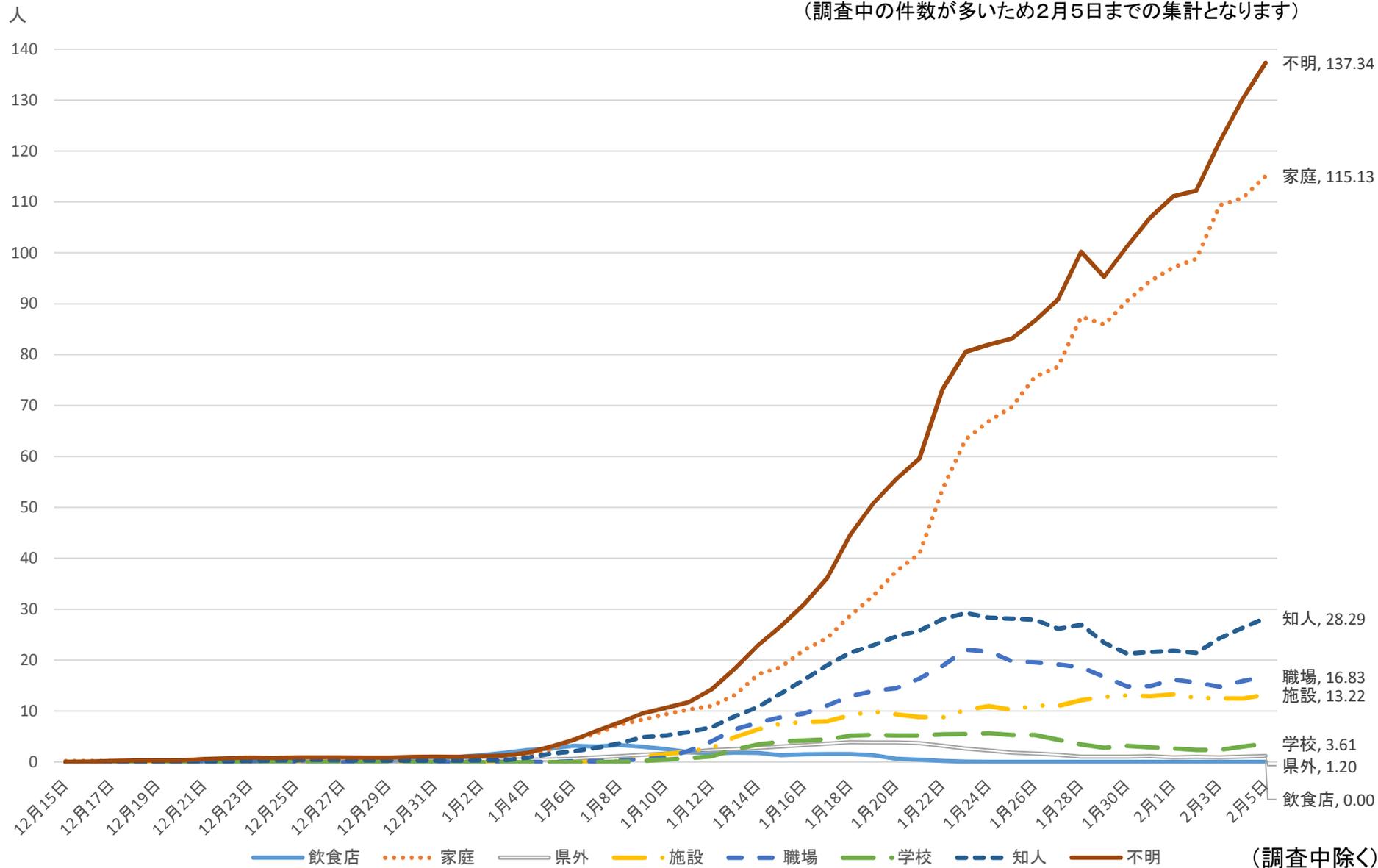
(公表日 直近7日間の累計患者数)(R3.12/15-R4.2/20)



5)陽性者の感染経路(10万人あたり)推移

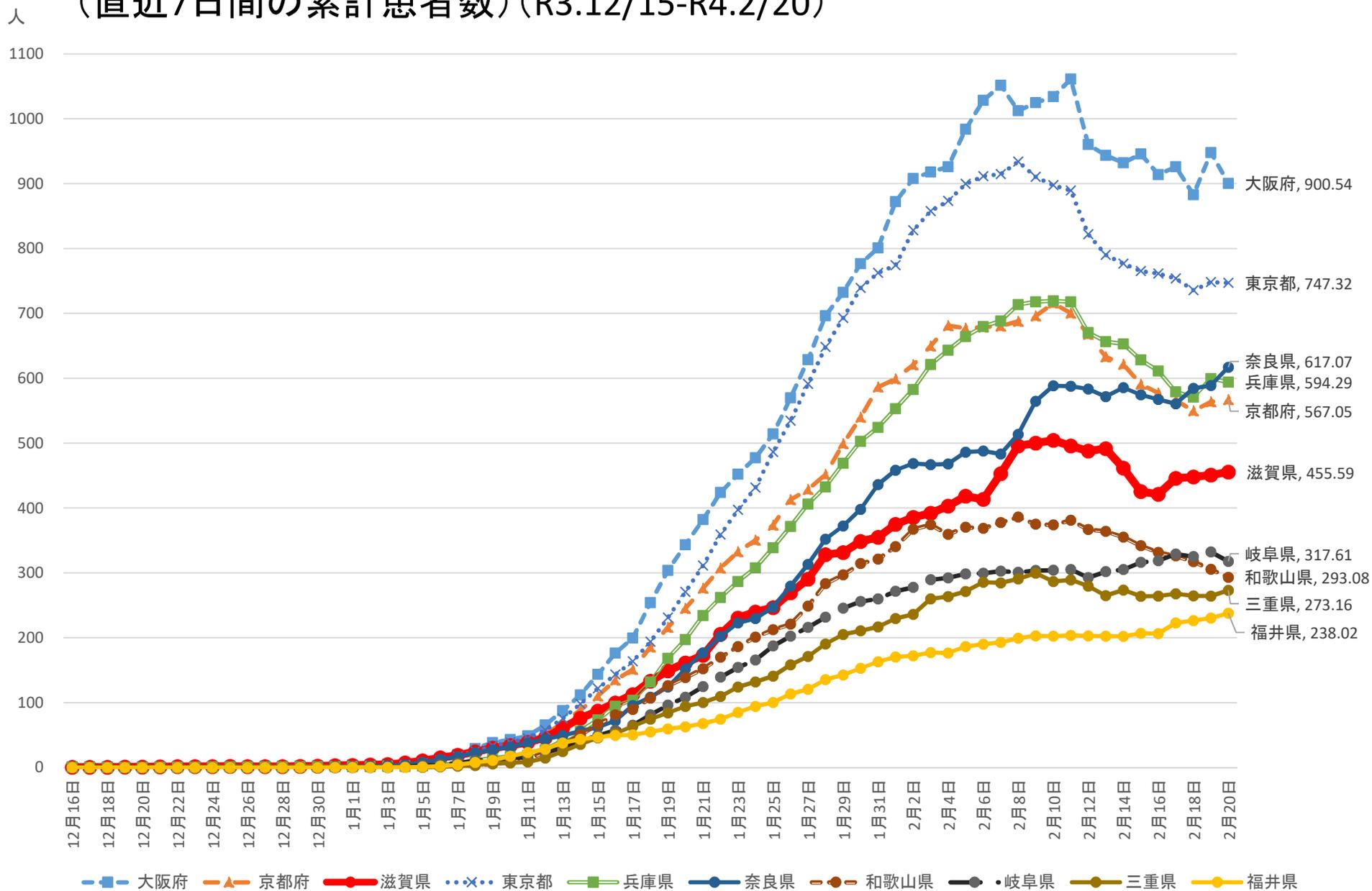
(公表日 直近7日間の累計患者数)(R3.12/15-R4.2/5)

(調査中の件数が多いため2月5日までの集計となります)



6) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移

(直近7日間の累計患者数)(R3.12/15-R4.2/20)



2、県内の感染状況と体制について(2/20現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数	空床数		療養者数		清掃・修 理待ち	空数			
			県内発生	その他					県内発生	その他	
総数	491	346	333	13	145	677	150	150	0	58	469

2) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数						入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中			入院予定等					
			重症	中等症	軽症						
PCR検査数	264,259										
(うち行政検査分)	100,064	41,792	8,751	333	2	75	256	8,268	150	32,917	124
(うちその他検査分)	164,195										
		(うちPCR検査判明分)	27,933					(うち自宅待機)	567		
抗原検査数	141,402	(うち抗原検査判明分)	13,859					(うち自宅療養)	7701		

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

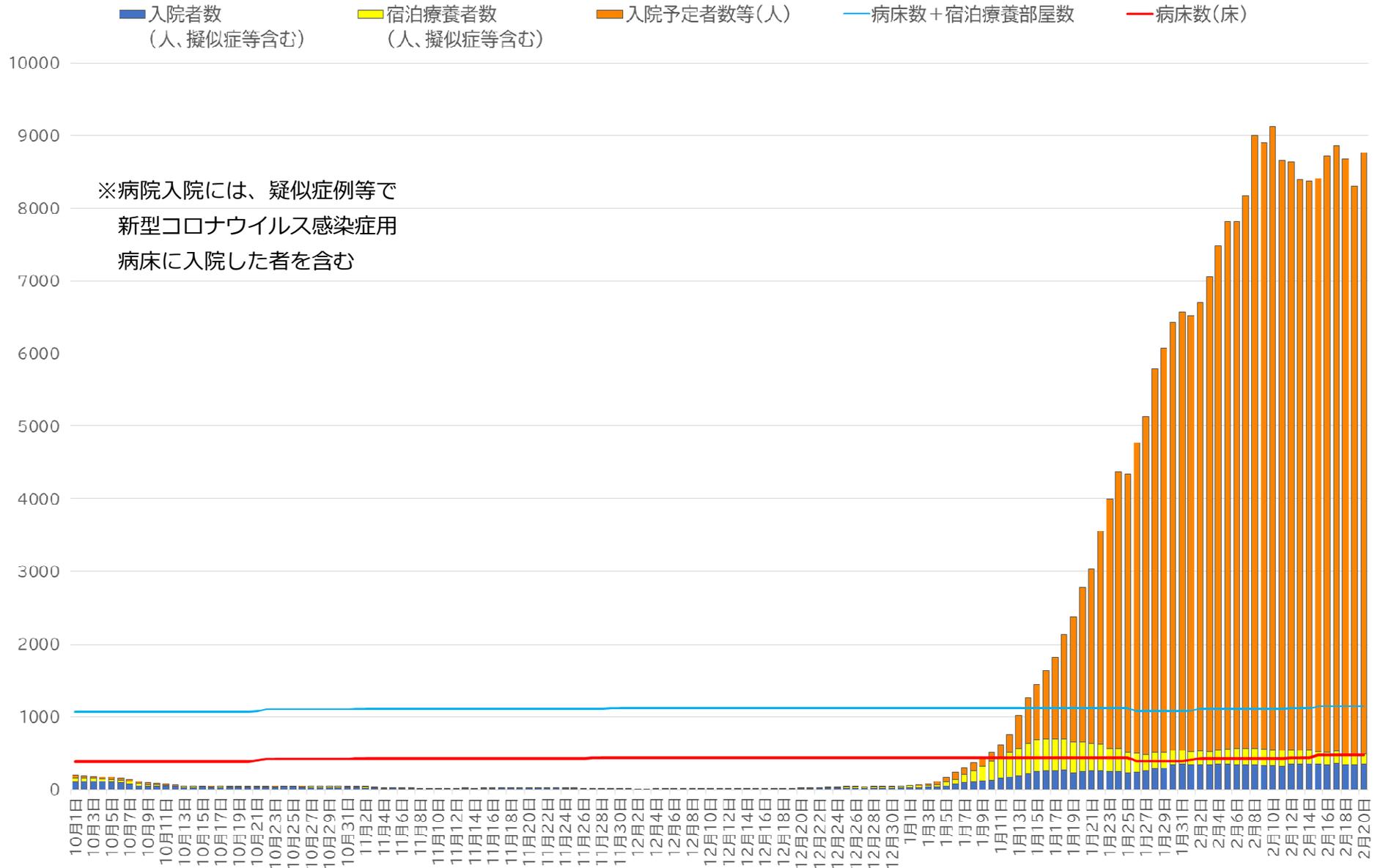
中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

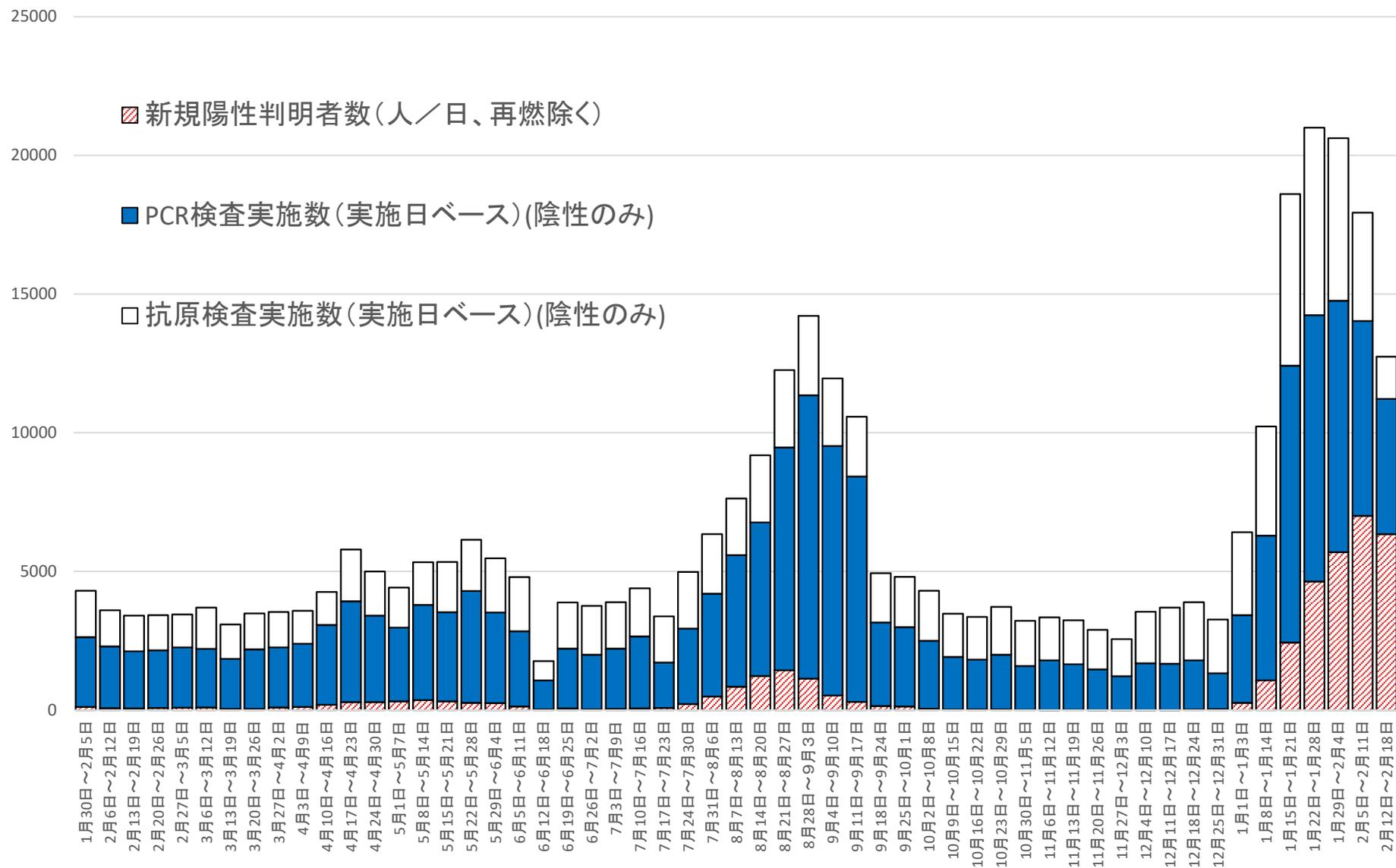
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

0人

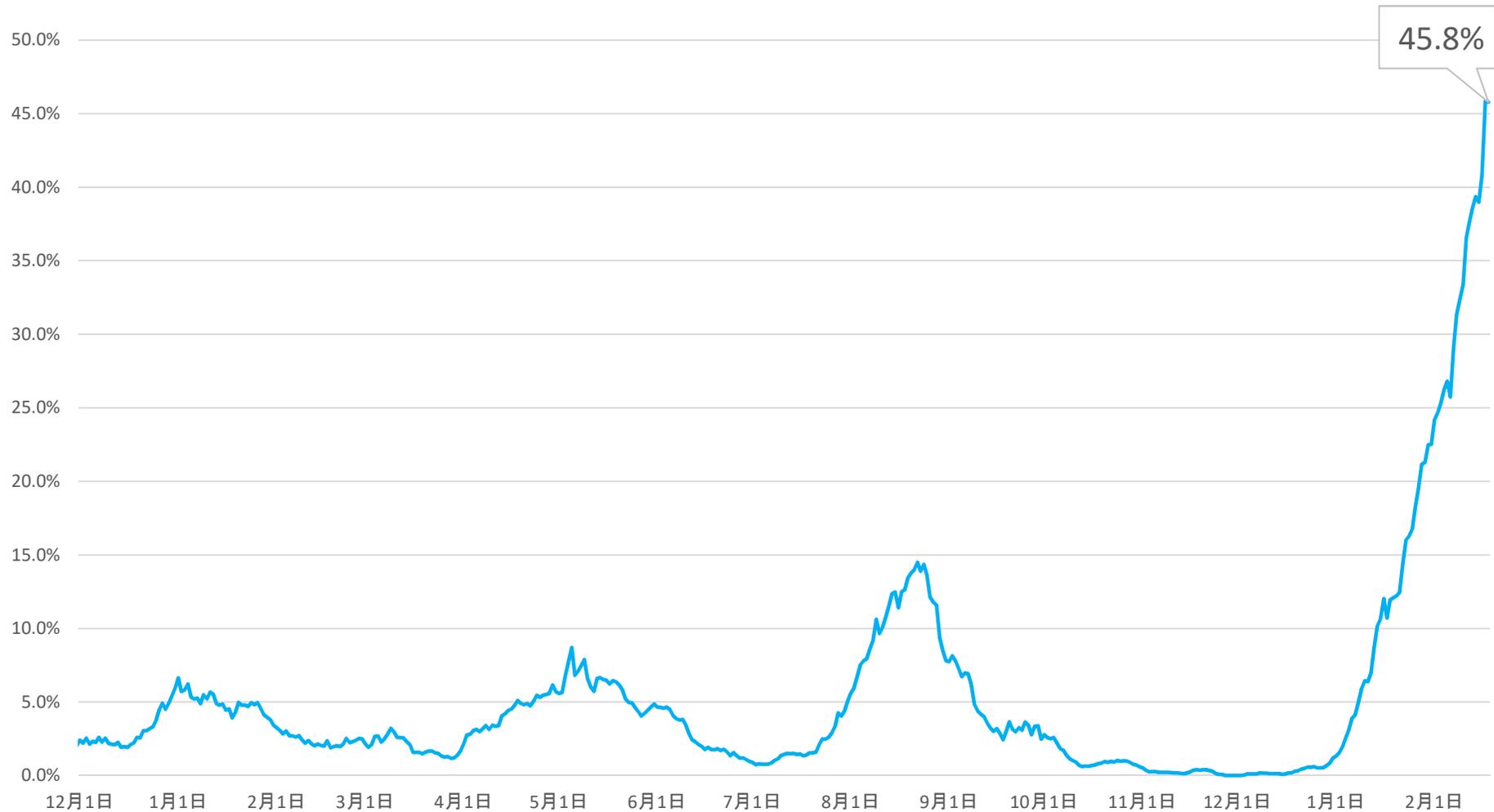
3)入院医療体制について



4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



5)陽性率(7日間移動平均)

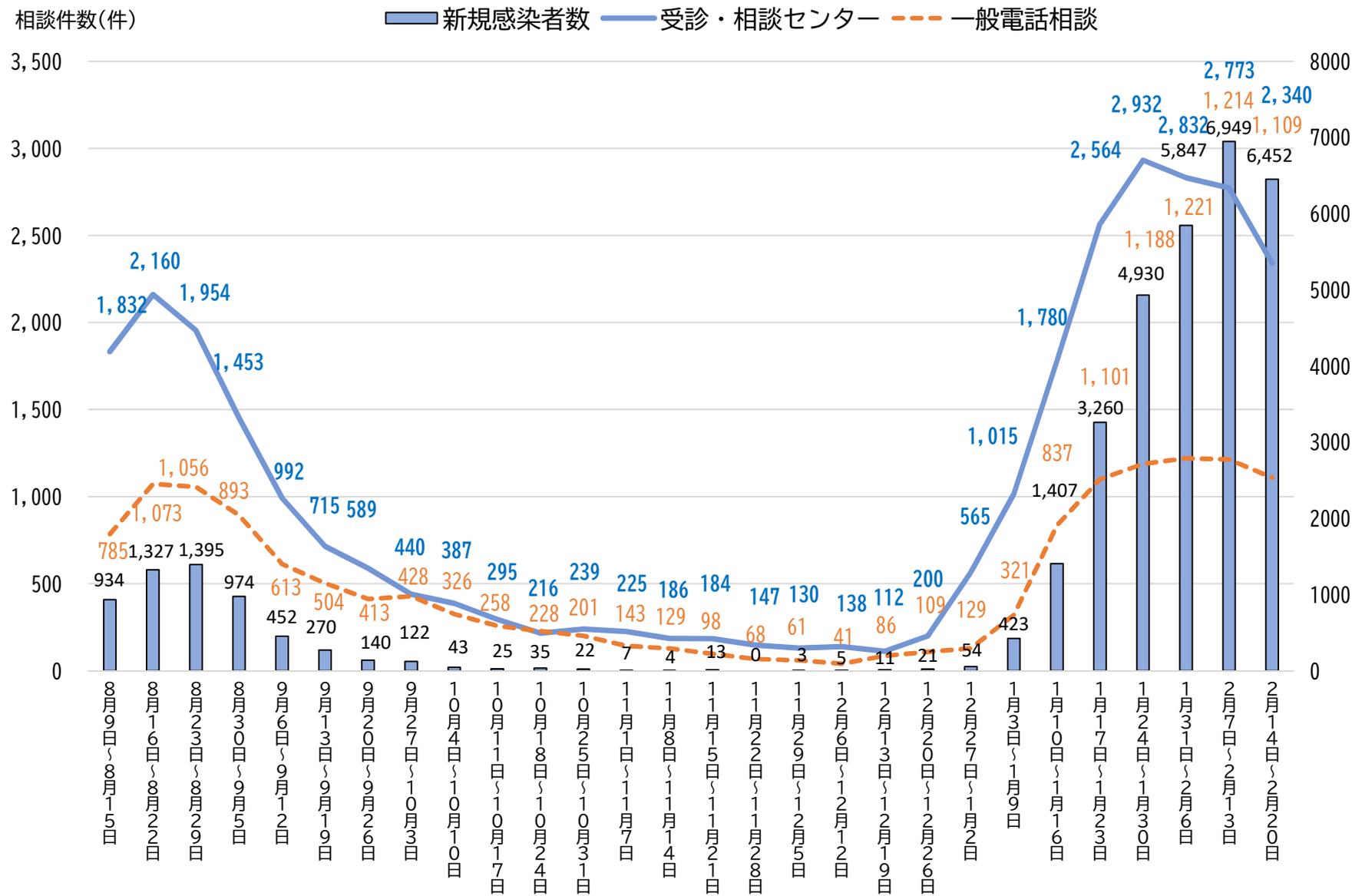


- 陽性率の7日間の移動平均(その日までの7日間の平均)を見ると、2月18日現在の陽性率は45.8%でした。

6) 相談体制について

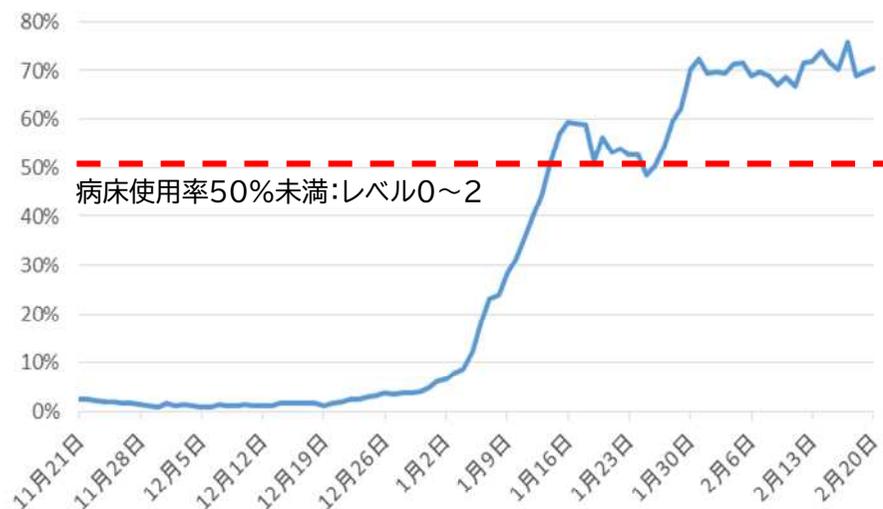
相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)

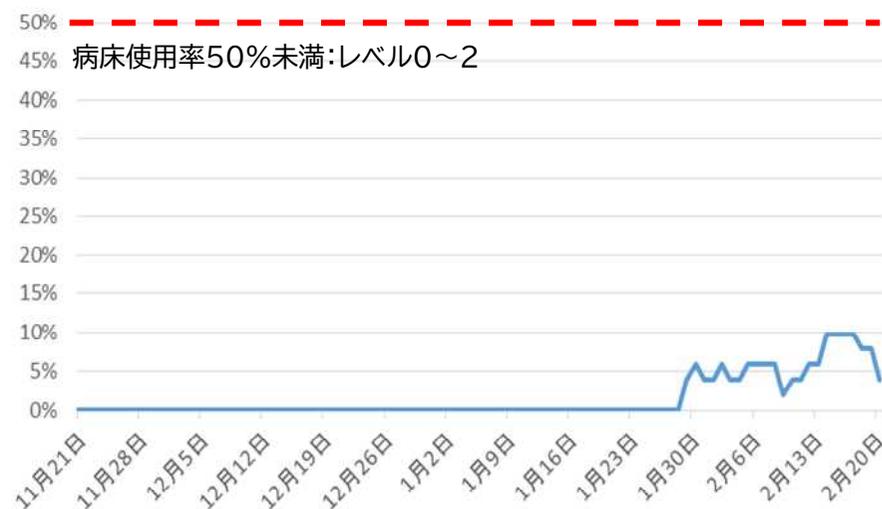


7) その他の県内の感染動向

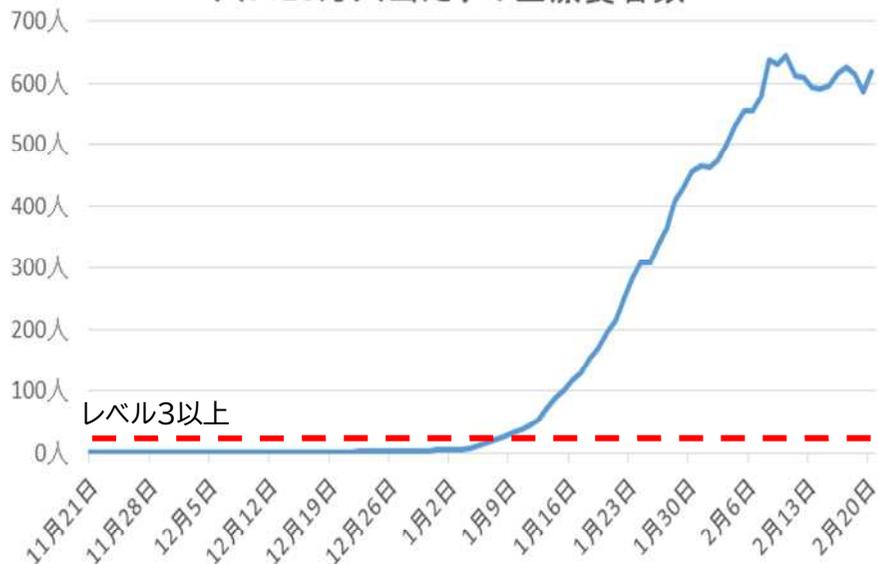
最大確保病床の占有率



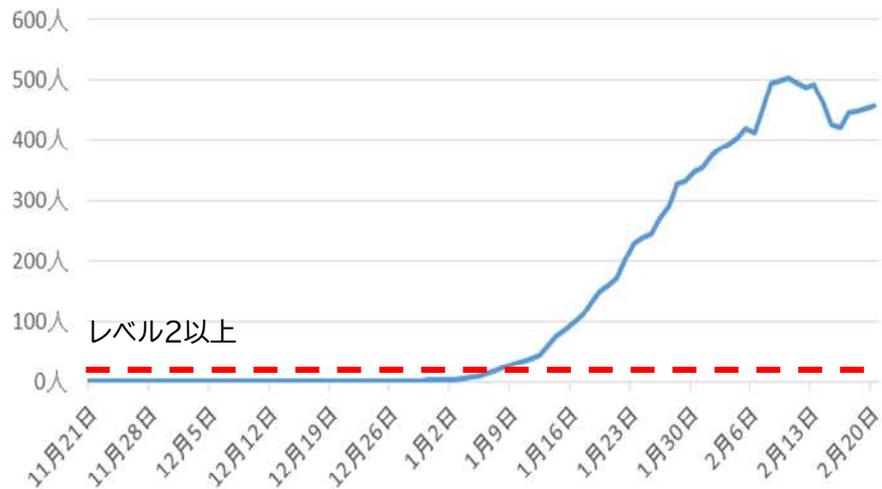
重症者用病床の最大確保病床の占有率



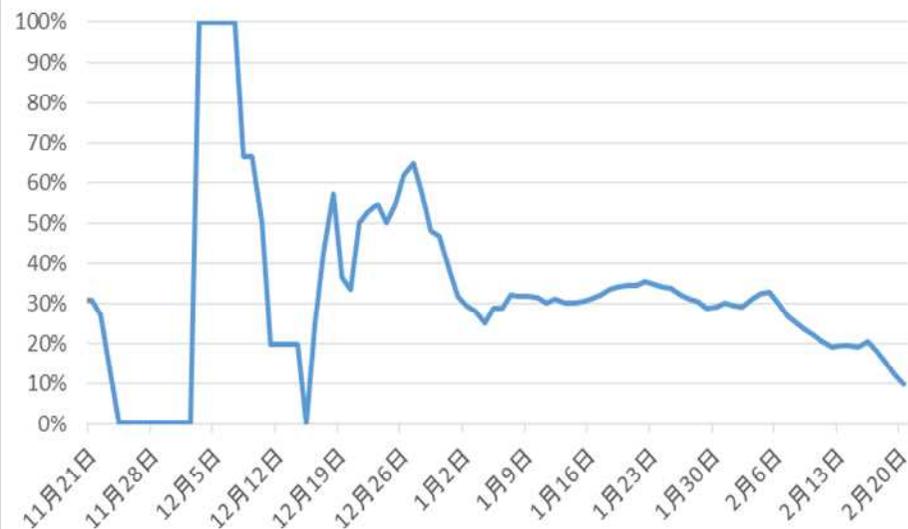
人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数



感染経路不明割合



※調査が終了し、感染経路が不明と推定された方の割合を示しています。

評価(2/14~2/20の感染状況)

- 全国的に新規感染者数は高止まっています。まん延防止等重点措置が適用された地域においては一部解除された地域があるものの、明確に収束傾向にある地域はなく、多くの地域で延長がなされました。
- 本県においても、先週比は0.93倍と横ばいで、引き続き高い水準が継続しています。2月17日には過去2番目に多い1262人が確認され、先週の後半4日間は前週の同じ曜日の新規感染者数を上回りました。累積の感染者数は4万人を超え、その約70%が令和4年1月1日以降の感染者となっています。
- 新規感染者数の増加に伴い重症化する方も徐々に増えてきています。確保病床の使用率は70%前後を推移し、自宅療養者数は高い水準が続いています。
- ハイリスクな人や場所に重点を置いた対応を実施すべき状況にあると考えます。特に医療機関や福祉施設等でクラスターとなった事例が多数発生しており、施設内で感染拡大しないよう個人の感染対策（標準予防策）や環境設定の再確認と徹底を改めてお願いします。また、風邪症状を認めた場合には早期受診をご検討いただくことをお願いします。
- 学校や保育関連施設でクラスターが多数発生しています。ワクチン接種の対象でない年代を守るために、周囲の人は特に注意しましょう。
- 本県は第5波までの状況からみても大阪府や京都府の発生動向に連動する傾向があり、この感染状況は継続すると考えます。手洗い、会話時のマスク着用、換気や密の回避など基本的な感染対策の徹底・強化が必要です。